



週報 第3020回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス izumiotsu-rc@ioctv.zaq.ne.jp

ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2019年3月1日)

■ プログラム

クラブフォーラム
中透 会長エレクト

■ 次週のプログラム

3月8日:卓話担当 砂原 孝史 会員

■ 今後の予定

3月15日:卓話担当 山本 正邦 会員

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

おぼろ月夜

菜の花畑に 入日うすれ
見わたす山の端 かすみ深し
春風そよ吹く 空を見れば
夕月かかりて においあわし

■ 先週の例会

会長の時間

今日も、先週に続いて「京都・花街の引力」パートIIのお話をさせていただきます。京都の花街には「一見さんお断り」のしきたりがあります。常連のお客さんの紹介がなければ、受け入れられない「会員制」のような仕組みになっています。一方で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどを控え、海外からの誘客を果たす役割への期待が高まっています。花街はしきたりを守りつつ、訪日客(インバウンド)という「新たな市場」に向き合おうとしています。花街は、これまで「一見さんお断り」を維持してきたのには、理由があります。宴席の場であるお茶屋でのお金のやり取りするのは無粋な事などで、支払いはお茶屋さんがいったん立て替えて後日請求する「かけ払い」の仕組みになっているので、信用のおけるお客さんでないと受け入れられないというシステムにいるからです。もう一つの理由は、料理や芸舞妓の「チーム編成」まで、顧客のニーズや好みに応じたサービスを提供するためです。お茶屋の経営者はホテルのコンシェルジュのような役割を務め、要望に応じては、京都・南座のチケットの購入やお土産の手配まで行います。1987年には200件あったお茶屋さんは、2018年末には128件と36%減少しています。この間、花街の中心顧客だった「旦那衆」が少なくなったのが要因の一つです。新たな顧客の開拓が求められている中、訪日外国人にも門戸を開き始めた花街ですが、しきたりを壊したわけではありません。花街側にとっての顧客はあくまで旅館やインバウンド事業会社・旅行会社といった得意先は乗客であり一見さんではないからです。花街・祇園東のお茶屋「富



藤野 修次 会長

IZUMIOTSU ROTARY CLUB

第3020回

菊」の女将は宴席のない昼間、旅行会社を通じ、国内外の初めてのお客さんも受け入れ、花街文化を紹介しています。舞妓が踊りと薄茶でもてなし、唄に合わせた手遊び「金比羅船々」などのお座敷遊びも体験できます。観光シーズンには連日、予約で一杯になるそうです。女将は「芸舞妓が技芸を磨く機会が増えて、国内外のお客さんともとても大切な存在になっています」と言います。各花街が春と秋に歌舞練場などで開く舞踏公演には、「一見さん」にも花街の魅力を気軽に楽しんでもらえる機会といえます。4月には花街の祇園甲部が「都をどり」を講演し、5月には先斗町が「鴨川をどり」をそれぞれ開催されています。泉大津ロータリークラブも原さんの年度に「都をどり」を見に行ったことを思い出します。

■ 幹事報告 寺田 敏也 幹事

2019-2020年度版ロータリー手帳をご注文される方は、事務局までお願い致します。

■ 委員会報告 なし

■ 祝 誕生日

根尾 玲子(25日)



■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
2/22	32名	11名	—	74.42%
2/9	30名	13名	2名	74.42%

■ メークアップ

榎本(2/13 和泉RC)
外山(2/7 和泉南RC)

■ ニコニコ箱

- ・八木秀富さん、本日クラブフォーラムよろしくお願ひします(藤野)
- ・誕生日祝いありがとうございます(寺田)
- ・八木さん、本日クラブフォーラム宜しくお願ひ致します(瀧谷)
- ・先日は誕生日のお祝ひありがとうございます(山本(博))
- ・欠席のおわび(西野)
- ・欠席のお詫び(西田)
- ・早退のおわび(中)

ニコニコ箱合計	13,000円
累計	613,000円

先週のプログラム 「米山記念奨学事業」

クラブフォーラム 八木 秀富 国際奉仕部門 担当理事

★ ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。

★ 支援の対象は外国人留学生

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。

★ 交流を通じて国際親善と平和に寄与

事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブ(RC)の当時の会長、古澤丈作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。

★ 最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度

その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の1人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。

★ 財団設立から51年 1967年9月「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立認可。基本財産3000万円。

★ 奨学金の種類と特徴(2018年4月~19年3月)

ロータリー米山 祈念奨学金一覧	月額	期間	募集システム	人数
1. 学部課程(YU)	10万円	最長2年	指定校推薦	788人
2. 修士課程(YM)	14万円			
3. 博士課程(YD)	14万円			
4. 地区奨励	7万円	1年		16人
5. クラブ支援	14万円	6ヶ月/1年	世話クラブ推薦	12人
6. 海外応援者対象	10万円(学部生) 14万円(大学院生)	2年	公募	31人
7. 海外学友会推薦	14万円(渡航・住居費別)	1年	海外学友会推薦	5人



IZUMIOTSU